

丹波篠山築城四〇〇年祭オープニングコンサート 大書院で聴くルネサンス音楽

とき
～四〇〇年の時間を越えて～



ダンスリー・ルネサンス合奏団 天正少年使節ヨーロッパへの旅

2009年4月4日(土) 午後5時30分開演(午後5時開場)

篠山城大書院 手毬の間

PROGRAMME

PART 1

日本出発から ポルトガル、スペインへの旅

Miguel

祭りのあとの子守歌

La fête

岡本一郎

Okamoto Ichiro

Miguel

母なるマリア

Maryam Matrem

モンセラート写本

Llibre Vermeill de Montserrat

スペイン

聖母マリア頌歌 3 7 番 器楽

Cantiga de Santa Maria No 37

アルフォンソ賢王

Alfonso El Sabio

スペイン

冬の厳しさとアレルヤ(モテット)

Ar amb la forza, Alleluiah

R.ミラヴァル、作者不詳

R.de Miraval & École de Notre-Dame

フランス

Miguel

ダビデ王の悲しみ(リュート歌曲)

Triste esta el Rey David

アロンゾ・ムダラ

Alfonso Mudarra

スペイン

レセルカーダ 第3番

Recercada

D・オルティス

Diego Ortiz

スペイン

アモロソ

Amoroso

作者不詳

Anon

イタリー

何で私の華やぐ顔を洗いましょうか

Con que la lavare

J・ヴァスケス

Juan Vasquez

スペイン

母なるマリア

Maryam Matrem

処女にして母なるマリアをたたえよ
イエズス・キリストを
心こめて讃えよ
マリア この世の聖地よ
われらをまもりたまえ
イエズスよ、安らかな隠れ場よ
われらの祈りをききいれたまえ
まこと御身は
われらの宿
このうえもない安楽の地

ダビデ王の悲しみ

Triste esta el Rey David

ダビデ王は悲しんでいた
悲しく、深い嘆きを抱いて、
アブサロムの死の知らせが
とどけられたそのときに……

アブサロムの死の知らせが
とどけられたそのときに
心の奥から湧いて出る
悲しい言葉をこう洩らした……

心の奥から湧いて出る
悲しい言葉をこう洩らした、
「彼らこそ、おぬしの死と
わが悲嘆のみなもとだった」

「彼らこそ、おぬしの死と
わが悲嘆のみなもとだった、
死んだおぬしを見とうはなかつた
わが牢に、生きた姿であつてこそ……

死んだおぬしを見とうはなかつた
わが牢に、生きた姿であつてこそ！
たとえわれに従わぬとも、おぬしをば
許したであらうぞ、わが息子よ！」

PART 2

ローマ法王謁見を終わって帰国の旅へ

愛と死と生と

L'amour, la mort et la vie

C・ジャヌカン フランス
Clément Janequin

舞曲集

ブランル、パヴァーナとガイヤルダ、
Miguel ドイツ風舞曲とサルタレッロ
Branle, Pavane, Tedesca

G・マイネリオ イタリア
Giovanni Mainerio

千々の悲しみ

Pavane Mille regretz

J.デブレ フランス
Josquin des Pres

Miguel

戦争のパヴァーナとガイヤール

Pavane et gaillarde de la bataille

P・ファレーズ フランス
Pierre Phalèse

聖母マリア賛歌 (聖歌)

Fêtes de la Bienheureuse Vierge Marie

アグヌス・デイ *Miguel* インパラディスム
Agnus Dei, In Paradisum

グレゴリオ聖歌 *Miguel*

Te Deum

谷茶前節

沖繩民謡

こきりこ

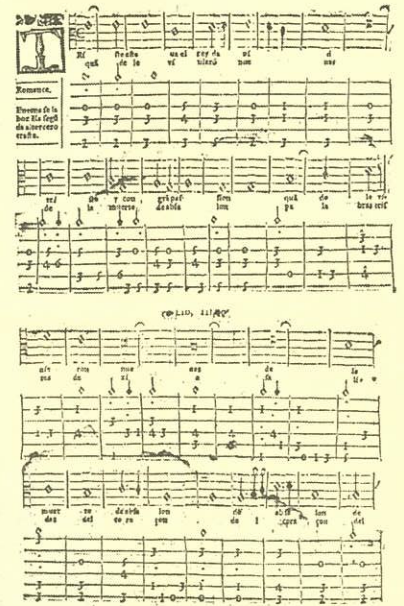
Miguel

さくら

日本民謡



ITOH MANCIO
伊東マンシヨ



Triste esta el Rey David
Original music score



Josquin des Prez c1440-c1521
J.デブレ

何で私の華やぐ顔を洗いましょうか

Con que la lavare

なにで、私の華やぐ顔を洗いましょうか
なにで、私の華やぐ顔を洗いましょうか
私は、とても悲しいの。
若い花嫁は、レモンの水で顔を洗います、
私は、悲しみに、打ちしいげられて
苦悩と、孤独の水で、顔を洗います。
白く輝いていた私の肌は、もう、
かさかさ乾いています、
なにで、私の華やぐ顔を洗いましょうか。

愛と死と生と

L'amour, la mort et la vie

愛と死と生は私を永遠に悩ませる
全く私の心を安らかにさせてくれない
ずっとそのままに…
笑いたいときに泣き、
愛のために涙する
人生が私を死なせようとし
死が私を生かそうとしている

千々の悲しみ

Mille Regretz

一人あなたを残すことは千々の悲しみです
愛するあなたの顔を残して去ることも千々の悲しみです。
とても深く哀しんでいます。
私の残された日はだんだんと少なくなってきました。

DANCERIES

岡本 一郎

(ディレクター、編曲、リュート)

松井 智恵

(ソプラノ)

坂本 利文

(ヴィオラ・ダ・ガンバ、フィーデル)

パク・コニル

(レベック、フィーデル)

中村 洋彦

(リコーダー、ゲムスホルン)

坂田 博紀

(リュート)

Maryvonne

(ナレーター、デザイン、コーディネーター)

LA 萌 MIE

Chorus

松井 智恵

(ディレクター)

河合 清子

河原 紀子

田中 美奈子

上原 奈未

(ハープ)

西村 由紀子

(キーボード)

ダンスリー・ルネサンス合奏団とは

1972年、リュート奏者で指揮者の岡本一郎によって結成された日本最初の中世西洋音楽、ルネサンス音楽を専門とする演奏団体。

坂本龍一とのコラボレーションを行うなど、当初から大胆な試みを行うほか、現存最古のオペレッタ「ロバンとマリオンの劇」を本邦初演、1982年にフランソワ・ミッテラン大統領が国賓として日本を訪問した際には、東京のフランス大使館において、ミッテラン大統領夫妻が主催し、昭和天皇夫妻を主賓として招いた答礼晩餐会において、招待演奏を行っている。

関西を中心に、海外公演もこなしつつ地道に息の長い活動を続けており、全国的にファンの多い合奏団である。

大阪文化祭賞、金賞、本賞・府民劇場賞・クリティッククラブ特別賞・兵庫県芸術奨励賞他受賞多数。
